

# 一般質問

12名が登壇 市政を問う

\*この一般質問は12月7日に行われたものです。

## 一般質問

### ・高齢者の安全運転支援について



阿南澄男

#### 問

今年は新型コロナウイルス感染症関係のニュースが多く、社会の関心事となっております。

しかし、昨年まで大きな社会問題となっておりました高齢者による痛ましい交通事故も数多く発生しております。印象的な事故としては、昨年4月に起きた池袋暴走死傷事故です。警視庁はブレーキとアクセルの踏み間違いが原因と結論づけましたが、このような事故は運転する高齢者だけではなく、巻き込まれた人たちの人生まで変えてしまう非常に悲惨な結果を招くこととなります。

今後、団塊世代が75歳以上となる2025年まであと5年となる中、市としても何らかの対策が必要ではないでしょうか。国は2020年3月からサポカー補助金を始めていますが、予算額の1、127億円がなくなり次第終了としており、この時期を2021年1月下旬と想定しているようです。

すでに全国では多くの自治体が

独自の補助制度により、ペダルの踏み間違いによる交通事故防止に取り組んでいます。

本市においても、このような補助制度を創設し、高齢者の安全運転を支援すべきと考えますが、市長のお考えをお伺いします

#### 答

本市の交通事情からしますと、生活する上で自家用車は欠かせないものであり、年齢を重ねた高齢者が身体機能の低下を自覚していても、運転免許証を自返納しようとする方は少ないのではないかと思います。今後、市内におきまして、高齢者によるペダルの踏み間違いによる悲惨な交通事故が起きないように、またこのような事故に巻き込まれる方がないように、高齢者の安全運転支援につきまして調査、研究をしてみたいと思います。



## 一般質問

### ・防潮堤整備について



渥美昌裕

#### 問

平成31年2月の定例会での一般質問以降、現在の御前崎市防潮堤整備計画について質問

します。他市の磐田市、袋井市、掛川市は、令和10年から11年度に完成予定です。浜松市は令和2年3月に完成しています。市としてどのような調査をし、課題、問題点をどのように捉えているのか、いつを目途に整備するのか、関連予算はどの位見積もっているのか

#### 答

南海トラフ巨大地震への対策として、国、県と連携し、防潮堤の整備や建物の耐震化、津波避難タワーの設置、各種防災訓練の実施など、ハードとソフトの両面で対策を進めております。レベルを超える津波に対する整備については、昨年度に静岡モデルを実施した場合の検討を行いました。結果、沿岸部の地形や内陸部の土地利用状況から堤防幅が確保できない箇所があり、一般的な堤防整備ができないこと、整備費用については、概算で数百億円と膨大な建設コストがかかることが分

かってきました。以上のことを踏まえて、当面の間、レベル2津波に対しては、命を守るソフト対策を進めていくことを考えております。レベル2津波対策の防潮堤整備の具体的な整備目標時期は決めておりませんが、市民の生命と財産を守る上で有効な手段であり、今後も継続して実施検討します。

#### 脚注

レベル1：発生頻度が比較的高く（駿河・南海トラフでは約100、150年に1回）、発生すれば大きな被害をもたらす地震・津波  
レベル2：発生頻度は極めて低いが、発生すれば甚大な被害をもたらす、あらゆる可能性を考慮した最大クラスの地震・津波  
静岡モデル：レベル1を超える津波に対しても、できるだけ被害を減らすことを目的とし、条件が整った地域において、既存の防災林等の嵩上げなどの整備を促進し、地域の安全度の向上を図るものです。